

エリス&エイダの鬼の里Diary

Elice's Story 「Farewell, and thank you」

とうとうお別れのときが来てしまいました。鬼北町で2年間ALTとして勤務し、私の人生において素晴らしい経験となりました。皆さん、いつも温かくしてくださりありがとうございます。実は最初、「愛媛県鬼北町」と書かれてあるメールを見たとき、「どこ？」と思いました。しかし今では、この町でなくてはならなかったと思うほど、鬼北町が本当に大好きです。

ALTとしての目標は、英語を教えることだけではなく、日本人が持っている「アメリカ人といえば白人と黒人」というイメージを変えることでした。実際、私のようなアジア系アメリカ人やラテン系アメリカ人など、〇〇系アメリカ人がたくさんいます。アメリカは人種的に多様な国ということをご皆さんに上手く伝えることができたのであれば幸いです。

児童生徒の皆さん、2年間英語の授業を頑張ってくれてありがとう。皆さんは元気で明るくて、英語もやる気満々！休み時間も一緒に遊べて楽しかったです。9月から来る新しいALTの先生にも、私にしてくれたように優しくしてあげてね。皆さんの未来は明るいです！一生忘れません。また会えることを信じています。その日まで元気でいてください！

今後は東京で会社員として働く予定です。まだ最終面接が終わっていないので、頑張ってきます。私は「世界を見たい」という夢を持っているので、その夢が叶えられるようにこれからもさまざまなことに挑戦し続けたいと思います。鬼北町は私の第2の故郷です。また遊びに帰って来るので、見かけたら声をかけてね！
Thank you so much everyone!
See you again!



**鬼北町外国語指導助手
通称：エリス**

アメリカ合衆国カリフォルニア州出身
※毎週水曜日、エイダとともに英会話教室を開講しています。

地域おこし協力隊のゆうゆう自適日記

皆さん、こんにちは！
近永駅周辺賑わい創出プロジェクトがスタートしました。



地域おこし協力隊2年目
はやかわ ゆうこ
早川 優子

近永駅周辺の賑わいを取り戻すために立ち上げられた「近永駅周辺賑わい創出プロジェクト」。6月5日、13日の2日、そのワークショップに参加させていただきました。

北宇和高校の地方創生・広報委員会の生徒さん、地域住民の方々とともに、近永駅に何が必要か、どうなってほしいか、たくさんの意見を出し合いました。生徒さんの中には、「勉強スペースや皆がくつろげるスペースがあったら…」と、切実な意見があり、駅で待っている間の有効活用として必要だと感じました。また、私が1年以上鬼北町で生活してきた中で、気が付かなかった斬新な要望などもあり、とても面白かったです。

皆さんの意見が実現し、近永駅前やその周辺が人であふれ賑やかな光景になるのが、今から楽しみです。



▲北宇和高校地方創生・広報委員会とともに